

おお大勝利

平成 23 年度山東サッカー部報第 12 号 (7 月 20 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

Y1 日大山形戦 粘り通じず

7 月 18 日 (月) 日大山形グラウンドにて Y1 第 9 節¹日大山形戦が行われました。日大はリーグ前半を 6 勝 1 敗 (U16 国体との対戦成績を除く) の首位で折り返している。昨年度はプリンスリーグを戦った強豪。県総体でも持ち前の堅い守備と早い攻撃で決勝まで進出している。対して山東は、前節 U16 国体戦で新チーム初勝利をゲットしたものの、メンバーといいシステムといいまだまだ模索中といったところ。チームとして完成している日大との対戦は厳しいものになることが予想されました。当日は連日続く晴天のため、熱射病が心配されるコンディション。熱い中、日大相手にどこまで走り切れるか。メンバーは、怪我の 2 年 GK サカグチに代わり、1 年ヒデアキ初登場。高校から GK を始めたため経験不足は否めませんが、今回は公式戦で経験を積むまたとないチャンス。10:00 にキックオフの笛が鳴らされました。

試合が始まると、日大に押され気味ながら球際でしっかり戦っている山東イレブン。両チームとも、つぶし合いの時間が長く、なかなか有効な攻撃につなげられない。山東としては、競り合いの強い日大を手こずらせている試合の入りは、上出来。日大は前日の 17 日 (日) に酒田で羽黒と天皇杯の 3 回戦を戦っており、疲れがあるか²。日大のベンチが熱くなっているのが、山東が粘れている何よりの証拠。主将ショウタの指示の下、ヘディング練習を続けている成果が出ている。ただ、押され気味であることは確かで、山東は得点機を作れていない。時間とスペースのない中 (ハイプレッシャーの中) ボールを落ち着かせることのできる選手、相手の読みを外しながらプレーできる選手、ボールを奪われないキープ力を誇る選手が、山東に見当たらない。よって常に無駄に焦りながら雑なプレーを繰り返している。ジュニアユース (中学校) 年代のようにロープレッシャーの中でしかトレーニングしていないためか、ガンガンと迫りくる日大の圧力をかわすスキルを身につけていない³。前半の中盤、日大に左 CK

¹ 山東にとっては第 9 節、後半戦の初戦ですが、所属 8 チーム + U16 国体の計 9 チームという奇数チーム数で前半戦を戦ったため、前半戦で各チーム 1 節休みが入りました。よって Y1 としては第 10 節となります。

² 天皇杯の羽黒 日大戦は 3 - 1 で羽黒の勝利。羽黒は、インターハイ出場が自信になっているか、プリンスを戦って伸びているのかわかりませんが、県総体よりも大分良くなっているとのことでした。

³ ロープレッシャー下ではうまいが、ハイプレッシャーにさらされると急に下手になる選手は多いです。これが、中学まではうまくいった U16 国体チームの選手が Y1 でうまく戦えない理由だと思います。

(日大からすると右CK)を献上。日大は競り合いがとても強いため、セットプレーに無類の強さを発揮するチーム⁴。これまでも、CKから何度も煮え湯を飲まされてきました。いや～な予感がしていたのですが・・・CKを大きく蹴らず近くにいる選手にパスをしてゴールに近づく(角度を変える)プレーであるショートコーナーに対して、二人が同時にボールサイドに引き寄せられる山東。真中が手薄になるためマズイと思いましたが、後の祭り。センターリングをボレーで合わせられ、先制を許す。「あ～、結構粘って面白い展開に持ち込んでただけだな～」と思わず天を仰ぐ。と同時に、緊張の糸が切れて失点に失点を重ね、崩れていく予感がいたしました。そういえば試合前、前日の野球(日大-山東戦)のようにコールド負けするんじゃないかと内心ビクビクしておりました⁵。意外にも善戦していたので、その恐れを忘れていました・・・。しかし! 選手は崩れることなく、CBのリョウとウスバがディフェンスを統率し、リクとショウタのボランチコンビも中盤で体を張って日大の攻撃を防いでいる。崩れるような負け方をした山商戦から、成長が感じられる山東。何とか凌いで前半0-1で折り返す。

後半は途中からナオトとヒデキが入り、リズムを変えようとするが、ハーフタイムに「鬼軍曹」から発破をかけられた日大が、気合の入ったプレーを繰り返し、前半以上に劣勢に立たされる山東。CKから再び失点し、0-2へ。そして左サイドを崩され、逆サイドに振られたボールを合わせられて、0-3。最終盤、インサイドで日大のプレスをかいくぐり、左サイドに展開し、惜しいシュートを放つも、シュートはゴールマウスをとらえることができず、結局0-3の完敗。

日大相手に予想通りの敗戦となりましたが、チームに、というかディフェンスに粘りを感じることができ、山商戦、新東戦よりも向上した姿を見ることができました。降格を危ぶまれるチームが敗戦に喜ぶわけにもいきませんが、スコアに表れないゲーム内容の評価も重要です(特に一発勝負のトーナメントと異なりリーグ戦では)。ただ、攻撃ではあまり良いところがなかったので、そちらの方でも成長を感じ取りたいところです。ともかく、次戦こそ粘りをスコアに反映させ、勝ち点を得たいと思いますので応援よろしく願いいたします。

7月30日(土)Y1第10節 山形城北戦 14:00~ @天童第二(人工芝)

今年度のミニ国体に出場するU16山形県トレセンに山東一年ウスバが選ばれ、お盆に国体出場をかけ東北予選(ミニ国体)を戦うことになりました。また山東サッカー部が今年からお世話になっている名和トレーナーが、その山形県チームに帯同することとなりました。名和さん、ウスバ君、頑張ってきて下さい。

⁴ 私の読みでは、CK選手権というのが仮に行われたなら、日大は東北でトップになるでしょう。

⁵ 12-0で5回コールド負け。サッカー部は中山球場に朝集合し、走り込みを行った後、野球応援を致しました。ちなみに、サッカーではもちろんコールド負けというのはありません。ので、青森山田などは、選手権や総体の青森県予選で、しばしば大量得点で勝利します。青森山田は、昨年度の県総体一回戦を45-0で勝利しています。全70分のゲームですから、2分で1点のペースを上回るスコアです。レベルの違う相手でも全く緩むことなく戦い抜く彼らは、本当にすごいと思います。